



令和4年度 みんなのしあわせ懇談会から 見えた課題について

推進：資料4②

令和5年度 第1回

菊川市介護保険事業計画等推進委員会

(令和5年6月13日)

作成：菊川市社会福祉協議会



行政（問題）

若い人が定住しない

・ 独居、高齢者世帯、空き家が増えている

・ 市内に勤め先がないと定住しないと思う

・ 外国人の問題、若い人は外にでてしまう、数字だけではわからない

・ 高学歴で外に出ると、そのまま戻らず就職・結婚をしてしまう

・ 静岡県は雪が降らないからいいと聞くそのあたりを行政がアピールしたらどうか

コミバスの使い勝手が悪い

・ コミタクを使えるところと使えないところがある

・ コミュニティーバスもバス停まで行くのが大変、時間が合わず大変という声がある

・ 赤土クリニックへは通勤バスでいけませんか？という相談にきた人がいた

・ 内田地区はコミュニティバスの利用者も少ないのではないか

・ 直通で行くコミバスが無い、菊川病院で別のコミバスに乗り換えに行くか、市営バスに乗り換えるかの方法になる

・ 手をあげて乗降できる区間があると聞いたことがあるが、区間が決まった所以外の人困るのでは？

・ コミバスの乗り継ぎが大変

公共交通機関が菊川に馴染んでいない

・ 公共交通機関が菊川には馴染んでいないのではないか

・ 利用が簡単であればいいと思う

移動販売を公共の場でも、販売できるようにしてほしい

・ 高齢者には、電話をして予約をするのが難しい

・ 移動販売は、公共施設等を使用できない（許可が必要）

・ 移動販売はとての便利だが、個人宅に来てくれると、毎回何か買わないといけないという気持ち

持ちになり負担になる方もいるため、地区センターなど公共の場でも販売できるように融通をきかせてほしい

外国人の人数の把握

・ 高齢者の中には外国人は入っているのか？抜いた数字を知りたい

・ 菊川市の高齢化率の中には外国人も入っているのか？

・ 昔からの人がそのまま残って若い人が出てしまっている

・ 外国人を抜いた数字を知りたい

免許証返納後の移動手段に困る

・ 50代で免許返納をしても先10年くらいは自分で動ける人が多いと思う。その間の移動はどうなるのか

・ 沢田地区は軒数が少ないこともあり、ゴミ収集場が1カ所のみ、車で移動していて免許返納後は大変になると思う

・ 今後もっとみんなが移動できる手段が必要になってくる地域だと思いが、全部サービス等に頼ってしまうと、

利用したい人が爆増した場合どうなのか心配

・ 敬老会の案内をみせてもらったが、場所がアエルとのこと、島川公会堂のみ送迎があるそうだが、他自治会

の方々はどうやっていくのか？と感じた

行政（必要な取り組み）

菊川市の広報はまだ紙媒体が必要

・菊川市はまだ紙のちらしの方が効果的だと感じる

・情報を必要としている方にしっかり伝わるように、公の機関に協力してほしい

・菊川市は他市と比べてごみの分別が難しい→守らない人へ漫画や写真で見せるようにする対

策を考えた方がよい ※外国人へは文字で見せても理解を得られないかも

・市内の居場所などの情報を、コミバスの時刻表と一緒に乗せるなど伝える工夫が必要

・朝市や居場所などの集まりの場を開催していることを伝える手段が難しい

コミ協が活動できるようにアドバイスが必要

・第4次福祉計画については、しっかり理解をし、検証して報告をしてほしい

・達成状況などを皆に報告すれば次年度に繋がるだけでなく、皆の認識に繋がっていくのではないかと

・コミ協を今後活動できるようにした方がよい

・行政等できっかけづくりをしてほしい。他地区で活動している人たちに来てもらって報告をしてもらうとか

避難運営訓練の見直しが必要

・避難所運営訓練は実効性のあるものをやらなくてはならない

タクシー券を配る必要

・90代の人から、タクシー券の話をよく聞くので、タクシー券を配った方がよいのではないかと

・集まりの場まで行く移動手段が必要

民生委員の負担を減らす必要

・今回沢田地区在住の民生委員だったから迅速に対応してくれたが、沢田地区は公文名、沢田、堀之内三か所と広域で担当している、民生委員が後退した後は少し不安

・災害時要支援対象者の数が増えている

・地区センターの事務長のところには、地域の情報や他地区の情報が入るので、提供してほしい

行政（その他）

安否確認をするための 様々な方法

・安否確認を、
新聞配達・郵便
局・宅配業者・
ヤクルト販売員
にお願いしてみ
ては

（包括が提携し
ているらしい）

社会福祉協議会（問題）

福祉の問題をもっとわかりやすく伝えてほしい

・福祉の問題は
的が絞りにくい
し、とっつきに
くい。具体的に
伝えてもらえる
とありがたいし、
わかりやすくて
よい。

地域の会議が福祉関係 の人たちだけになって しまっている

・地域の会議は、
毎回同じメン
バーではなく、
色々な立場の人
に参加してもら
うほうがよい。

・みんなのしあ
わせ懇談会は、
年1回開催し進
捗状況を確認し
つつ進めた方が
良いと思う。

話し合う議題に
より、呼ぶ人も
変更した方が良
いと思う。

社会福祉協議会（必要な取り組み）

買い物バス運行についての支援が必要

- ・買い物バスについて、社協でお手伝いはできる

アンケートの目的と結果の報告が必要

- ・アンケートをとった後は、出た意見に対しての回答のようなものが必要では？

- ・書面でアンケートに答えたが、アンケートをとるなら目的などをしっかり説明することが必要。

サロンを開くきっかけを提供する必要

- ・サロンを再開しているところとしていないところがある、サロンを開くきっかけを提供してほしい

- ・サロンのできる講座、広報の必要性。

高齢者の意見の吸い上げが必要

- ・行政や社協が意見を吸い上げる

- ・お年寄りの声をどうやって拾っていいのか、サロンの対象者からの意見の吸い上げ、社協で吸い上げ、社協で開催したらどうか。

居場所等の情報が一覧で見られるマップが必要

- ・行政や社協が意見を吸い上げる

- ・居場所等の情報が一覧で見られるマップのようなものがあるとよい。

サロンと居場所の違いを説明する必要

- ・東部ふれあいサロンでやっている「まちの居場所」は、何かやることがないと時間をもたまましてしまうという意見があった。

社会福祉協議会（その他）

他市社協の良い取り組みについて

・長野県御代田
町社会福祉協議
会の買い物支援
「えんじよる
の」は良い取り
組み

移動に困っている

・今まで自分で運転をして脳トレなどに参加していた方が、免許証を返納して足が無くなり参加できなくなった。お金を出してまで参加をしてこない

・車を手放してしまうと農作業もできなくなり、もちろん買い物にも行くことができない。

・特になし、高齢者は免許を持っている。車がないとどこにも行けない。

・西方地域では車がないと話にならない。

・車を手放せないので、90代の人がいまだに自分で運転している。

・菊川市内で内田は四番目に高齢化率が高い。

→移動販売も来てはいるが、高齢化率以上に内田地区には買い物場所、病院、ATMもないこと

が高齢者の課題と考える

地域（問題）①

近所・地域のつながりの希薄化

・隣近所との付き合いが薄くなり、住みづらさがある。普段のちょっとした付き合いが困った

ときなど、大きなことに関連してくる。

・買い物支援について、近所の人にお世話になるのがつらいという気持ちがある方がいる。

支援をするにも、相手に気持ちを尊重しなくてはいけない。

・そんだもんで東は、民生委員経験者だが、外れるとどこまでその家庭に入っているのか？肩書がないと難しい、コロナになってから余計に入りづらい、どうやって繋がりを持てばいいのかわからない

高齢化が進んでいる

・外国人を抜けば高齢化率はもっと高いだろう。

・跡継ぎがなく、若い人は外に出してしまう。

・訪問すると、若い世帯との同居が少ない高齢者が増えている。

・堀之内の奥の方は子供が少なくあまり見ない。農地ということもあり家が増えないから新居が建たず、若い人が増えることが無いため、高齢化率が上がっていくと感じている。

・沢田は堀之内と同じく指定農地なので新築なし。＝高齢者が増える一方である。

・区画整理の影響もあり高齢化が進んでいるような気がする。親と子が離れて住んでいる。

・自治会によって高齢化率に差があると思う。

外国人との関わり

・自治会には入らないが、外国人は増えている。

・外国人は出入りが激しい。

・外国人は多少いる。→柳町にも少しおり、日吉町には一戸建てに住んでいる若い世代がいる。

・アパートに入居している外国人が多い。

・外国人の世帯も徐々に増えている。

・旧小笠は16,000人位10%が外国人。特に小笠北地区に外国人が多い。

田畑の放棄地が多い

・男性の活躍できる場は、力仕事であると思うし、畑や田んぼが放置されるところが多く勿体ない。

担い手の高齢化が進んでいる上に、若い人の担い手が少ない

・高齢者が多いと何かをするにも大変で苦労がある。

・スタッフも高齢化してきている。若い担い手がない。

・町部地区はコミ協が機能していないので、色々な活動が無くなってしまった。

→担える人がいないことが問題。現状の決め方ではなく、根本から変えていく必要があると思う。例えば、柳町の

・サポーターが70歳以上になってきて、高齢化している

・参加者が少なく、ボランティアも高齢化している。

→一部地域で現状自治会の協力が無いので、班長会でも相談するつもり。

人口が多いので、柳町を中心に役員を決め、いなければ他の地区でサポートするなど変えていった方が良い。

高齢者だけでは話が進まない。

少子化が進んでいる

・スクールガードをしているが、子供の数が少ない。

・スクールガードをやっているが昔と比べて子供が少ないと感じる。

地域（問題）②

集まりの場の必要性について

高齢になったら、介護保険という流れになってしまっている。

・高齢になるとデイサービスに行っている方が多く、地域の集まりの場が必要とされているのかわからない。

男性の参加者が少ない

・ひだまりの会を10年前に立ち上げた当初は男性の参加者がお一人いたが、それ以来男性参加者はゼロ。

・男性のサロン参加者が少ないことの課題に関しては、サロンや居場所にこだわらなくとも良い。

・男性の70代の人に声をかけても「まだその歳ではない」と来てくれない。サロンにこだわら

ず、男性が参加できている場所があるならいいのではないか。

集まりの場と参加者の減少

・サロンのサポーターも参加者も人数が減って運営が難しくなっている。

→「60代の方でも70代の方でもどうぞ参加してください」という内容のチラシを作ることにした。

・高齢でも健康な人は、自分で積極的に探して出かけていくが、引きこもりがちの人などは、大

勢の人の集まりの場に出かけていくことが苦手。

・サロンは以前の老人会を対象にやっているが、亡くなった方などがいて人数が減ってきてしまっている。どのように人数を増やしていくかが課題。

・日吉町の人たちは最近では暑いから家にいることが多い。ただ、サロンが無くなったことで、出かける場がない。

・老人会が無くなり高齢者が集まることが少なくなった。

・敬老会の名簿が無くなってしまい分からなくなってしまった。名簿はどこでもらえばいいのか。

地域で助け合う仕組み づくりが必要

・サロンの送迎があれば参加する人も増えるのか？※ひだまりの会では送迎している。

・近所の方で、毎日見かけたり、毎週見かけたり、毎日来てくれる。行ったり、帰ったり、電話をかける。

・同居家族がいても、家の中でひとりぼっちの方が多く、同居しているからいいのではない。

・地域に傾聴をしてくれる人が良いのではない。

・サロンのサポーターだけでは解決が難しい。自治会やPTAも一緒になって考えてほしい。

・行方不明となる認知症の方が最近多いように感じる。ある程度、ご近所で見守り活動が必要と考える。

・近所の助け合いが一番強い。

・防災については、班で連絡網を作り、毎年更新している。

・隣近所の付き合いは人によって異なると思う。農産物をもらい、農産物を

・沢田地区内で近所に認知症の方が徘徊していたが、民生委員に相談し何とかなった例がある。

・同居家族がいても、家の中でひとりぼっちの方が多く、同居しているからいいのではない。

・結局隣近所の人が一番わかっている。助け合っている。日頃の共有の場が大切。

作っていない人はお土産をあげたりということがある。

・加茂地区で高齢者がひとりぼっちでいるということが少なく、何かしらつながりを持っている。→近所の人たち4、5人で集まっており積極的につながりがある。

集まりの場が必要

・自主的に何かを考えると高齢者が少ない。何かをやらせてくれる理由を出さないと。

・年寄りから再開してほしいという要望もある。

・年代別サロンや話をするだけの集まりの場もいい。

・河城地区全体を集まりの場をどうするか、披露する講座の内容などについても。

・サポーターが60～70代で高齢化しており、参加者は80代位。60～70代の方々の居場所やサークル等集まりの場を作る必要があるのではないか。

地域（必要な取り組み）①

コロナ禍でも安心して参加 できるための対策が必要

・パソコン教室でもコロナの影響が大きく人数も減ってしまった、みんなで集まってやることに意味があるの、対策を取りながら続けていきたい。

・ひらかわサロンは開催している。多いときは60名近くが参加していた。コロナ等の影響もあり、参加者が減ってきている。サロンに自分で来られる人はいいが、一人では来られない人はどうするか。

・まだ人の集まりは安心できない。

・色々なイベントが企画されてもコロナで延期が多い。

・報恩寺ではコロナで人数制限があり、来る人も限られている。歩いてくる人より車で来る人の方が多い。

・白岩東サロンは新しい人が多く、子供と高齢者の交流の場が多くあった。コロナで行事が中止となって人との関わりや交流が無くなってしまった。

・地区で月に1度集まって情報交換していたが、コロナもあり集まるのを嫌がる方も増えている。

・コロナで外へ出かけることが減ってしまったら、認知症になりやすくなってしまわないか。

・コロナ感染者はないが、部屋の人員規制があり思うように活動ができなかった。

地域（必要な取り組み）②

地区センターを拠点とした取り組みが必要

・昔とは色々な状況が違うから、地区センターを拠点とした色々な取り組みが必要。

・公共施設（地区センター）をどう活用するかの活性化は、なかなか進んでいない。性化の為に

という企画が必要か考えていけばいいのでは。

地域で活躍できる場が必要

・茶畑を刈って展望台を作っているが、男性の協力者が多い。力仕事ができるので伝えてもらって

いるが、男性には環境保全に協力してもらい生きがいにしてもらってはどうか。

・男性の参加者が少ないが、とたまたまは数が増える。他の場は数多く活躍している。

・一人暮らしの高齢者に地域の中で活動できる場があれば良いのではないかと。

・有償ボランティアをやった方が、居場所力利用のためだけに、自分自身

のために社会性をもって参加し、自分の地域に貢献できるような思いがある。

・団体を運営していくのに誰か一人でも参加してほしいが、必ず核となる人が必要になってくる。

→七重会という場が、女性の活躍の場になればいいと感じている。

・サロンを開いても参加は女性ばかりで男性の参加者がいない、何かいい考えはあるか？

・地域の為に活動している人もいる。

地域全体で福祉の問題を考える必要

・福祉の関係者だけでなく、一般の人たちへも具体的な報告をして状況を説明した方が良い。

・自治会長へ簡単なアンケートを聞いて意見をもらう。自治会長の意見を聞いてもらう方が良い。

・現状を見直す必要があるのではないかと。

・まち協のふれあい農園は、以前みんなのしあわせ懇談会が出た意見から活動が始まった。地域の方との関

係性もできてきて、そこから色々なところにつながっている。

・民生委員で袋井市に視察に行った。市全体では高齢化率は低い、視察に行った地区は高いが、活動が活

発で見守りもできていて自分の居場所を持っている。

地域（その他）①

集まりの場の広報について

・居場所等カプ
フェをオプな
して一力月に
る。現は口
ミが友を
がお達を
きてく
れて
いる。

・西富田サロン
では、第三(土)
に公民館を開放
し、いつでも
が来ていいよ
うな形にしてい
る。高齢の方が

第三(土)を忘れ
てしまうことが
あるため、今後
チラシを作って
配布する予定。

サロン等の参加者について

・沢水加では一
人一人にお手紙
を出して出欠席
を取っている。

・民生委員がサ
ロンをやっている
地区は名簿が
あるため管理で
きている。

・年寄りが元気。

・みんなみだよ
りを持ちながら、
どんな内容なら
参加できるのか
聞く。

・自治会の回覧
でサロンの出欠
席を確認してい
る。

・高齢でも目的
を持っている人
はお元気である。

未婚世帯の増加

・現在の高齢者
は結婚し、子供
を産んで、子供
が外部へ…とい
う人が多いが、
今後見込んで一

・孫の世話をす
る人がいない。
一緒に住みたく
ないのではない
か。

人暮らしの高齢
者が増えていく
という所が課題
だと思う。

・結婚しない、
長男長女が出て
しまう。

・結婚していな
い男性がいるの
で今後は高齢化
に拍車がかかり
そう。

集まりの場の活動内容について

・緑ヶ丘では体
操をやっていた
り、グランド
ゴルフを
たりする
ら出ると
いう人

・サロン以外で
の活動の場とし
て、公会堂の花
壇に花を植える
作業であれば女
性もやりやすい
のではないかと

・サロンの内容
は基本おしゃべ
りの時間として
いるが、その話
の中から普通の
生活を感じること
ができる。

・サロンに参加
した人には健康
寿命を延ばして
ほしいとの思い
があるので、健
康体操を取り入
れている。

・大石でいきい
き体操教室を月
に1回第2木曜
日に始めた。

・日中はデイ
サービスに行く
方が多く、楽し
みにしている方
も多い。

・サポーター内
に男性がいれば
参加しやすいか
もしれない。

・色々なところ
に参加することで
長生きにつなが
るのではない
か。

・サロン参加者
の高齢者にサロ
ンをやすることで
生活リズムが作
れていると思う。

次世代事情

・三沢地区では65歳以上が多数。農業推進市域であるので新しい人が入ってこない。

・農業を継ぐ若い世代がいない。住宅地がそもそも少ないこともあり高齢化率が高い。

・自分たちを見てくれる子供たちを育てたい。

・清掃時、若い人が多く出てくる。子供が今後はどうか変化するのか。

・高橋には若い人が多い、企業が引っ越ししてきたこともある。

地域（その他）②

草刈り事情

・再生事業を使って草刈りを市へ依頼できた。

・環境保全が地域の道に影響のある草木を伐採してくれた。

・草刈り機を所持している人ばかりではないこともあり、負担を少なくやっていきたい。

・土手沿いの草刈りに関してどの地域も地元の人たちが担っている。

買い物バスについて

・奥ノ谷の買い物バスは、サロンから社協に相談した。

・買い物バスはボランティアで継続できるのか？ボランティアに頼っていいのか？やり始めは目新しいから

・奥ノ谷自治会の買い物バスを内田地区でやった場合に利用する人がいるか？

・買い物バスは時間に縛られるのが嫌だと思っ人が多いいのではなか。

協力してくれる人が多いと思うが、継続していく為にボランティアでいいのかは疑問。

・奥ノ谷では隣近所との距離が近いことから、内田地区とは地域性も違うので難しいのでは。

ゴミ出しについて

・川に捨てられていることもあった。

・ゴミ出しに関して、外国人が自治会内において言語が通じない為、何を言っても「OK、OK」と返ってくる。

・ゴミ出し場が遠い所にあると今後大変になると思う。川島は2カ所あるが、西横地では大きい道路を渡らな

・ゴミ出しで困っている人は現状いない。困っていれば地域で解決している。

・工業団地の道沿いにゴミがたくさん落ちている。

・ゴミ出しに関して困っているという声はあまり聞かない。

→解決はしているが、間違っ出し方になっていた。

いとない家もあるので大変。

・トラックの荷台から捨てている人がいた。

・分別をしっかりやらない人がいる。

移動販売について

・しずてつストア菊川店のチラシがポスティングされていた。

・ラックの移動販売の調査が家へ来た。(まだ利用しない。)

・物価が上昇している中でのプラス20円は痛い。

・おうちコープを利用している家もある。

・個人宅より地区センターや公共機関に来てくれると行きやすいという声もある。

・独居で一人で買い物に行けない方にはいいが、集まりの場に来てもらえる方がいい。

・とくし丸を何軒か利用している。民間であると利益にそぐわないと断られることがある。

・見守りをしているお宅には、週に1回ローソンが来るので助かっている。

・商品を実際に見て買えるのが良い。

・電話をして予約をすることや、注文書に書くことが高齢者にはわずらわしい。

地域（その他）③

移動手段の現状

・沢田地区の70～75歳の方が多くがほぼ車を所持している。

・現在買い物に困っているという声は聞かない。

・買い物へ歩いて行く人、自転車で行く人もいる。

・車さえ所持していれば買い物等に困らない。

・男性でも押し車で買い物へ出かけている人を見る。

・地域の中で今のところ困っていない人がほとんど。ただ、今後の事を考えると困ると回答する人が多数。

マンション住民との関わりについて

・日吉町にマンションが建設されて、若い人・子供が増えた。

・西通りはマンションを除くと、高齢者世帯が多い。

・マンションの住人は地域に馴染めないという問題があるが逆に底を狙い目としてどう取り込んで高齢者を支

えていくかを考えていくべきではないか。

・マンション＝一戸建てと同じなので、マンションの住人には自治会に加入してもらい、色々な活動に参加してもらおう。

地域（その他）④

隣近所との関わり方について

・軽トラの貸し借りがあり、お互いの生活リズムが分かる。見守りにつながっているのではないかな。

・内田地区は昔からある家が多いので新しい家を建てたいと聞けば、大体どの自治会に聞けばいいのかが分かる。

・何をしても班単位の小さな枠組みであればやりやすいと思う。

・裏山が崩れた時、近所での助け合いで何とかなった。

→とある班では御庚申で家を一軒一軒回るので、寝室がどこにあるかも把握できる。

その他

・環状線道路ができて宅地が増えた。今後、青葉台のようになってしまおうのではと思う。

・自治会ごとに特徴が違うので、狭い範囲で考えた方が良さそう。

・堤地区は高齢化している。石原は家が建ってきている。

・70年前に加茂地区は安心して住める場所であると聞き、今でもそうだと感じる。

・平ノ都は新しい地区で楽しみな地区。

・一人暮らしになると困るという人は多いと思う。

・250戸数、全体で500位。アパートが多いが、持ち家の人も増えている。

・堀田地区は線路を挟んで上下と分かれていて、下の方に新居が多く、別地区のような感じ。

・幸せとはなにか？（①心身ともに健康で ②生活に必要なお金はほどほどに ③人との好ましい繋がり ④

きょうようがある）

・七重会は今年度活動していない。ただ、現在のやり方が今の時代に合っているのか疑問がある。

・駅北が開発されれば年齢層が変わってくると思う。

・星ヶ丘は20年くらいたっているが意外と新しい人は比較的に入ってきやすい。